

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○人権尊重の精神を基盤とする教育を推進し、「共に」をキーワードと学校教育目標の具現化を図り、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校、活力と魅力にあふれる学校を目指します。・日々の授業評価を積み重ね、有効だった指導方法や指導資料を基に授業改善を図り、よりわかりやすい、より楽しい授業づくりを目指します。・周囲への感謝の心、互いのよさを認め合い思いやるやさしい心を育てるとともに、気持ちのよい挨拶や言葉づかいを身につけ、節度ある生活ができるようにします。・自分の心と体を知り、積極的に健康を推進する力を身につけさせるために、各種健康診断、身体測定、スポーツテスト等の結果を分析し、その結果を生かしながら、保健学習・体育学習・体力向上実践運動等の充実を図っていきます。・綱島のまちの「人」「もの」「場所」を生かし、身につけたい力を明確にした綱島小ならではの、学習の充実と発展を図っていきます。</p>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	「ありがとうございます」をキーワードとした、周囲への感謝の心を育む教育を基盤として、全ての教育活動を進めていく。	① 感謝の心を育む教育を、学年経営・学級経営の中で、さらに具現化して進めていく。②教科化となった年間35時間の「道徳の時間」の充実を図るようにする。③具体的に豊かな心の育成につながる「全校ふれあいコンサート」に向けての意欲を高め、さらなる充実を図るようにする。
担当	第3部会	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

家庭環境・学習環境、共に恵まれた児童が多く、高い学力はもっているものの、生活の中でそれを活用する意識が低い。「勉強はできるが、自分から進んで取り組んではいない」状況にある児童が多い。習い事や学習塾に通う児童の比率が高く、忙しい毎日を送って、精神的な余裕がなくなっている状況がある。また、特別な支援を要する児童も急増しており、生活場面において、コミュニケーション不足によるトラブルが多く見られる。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「道徳の時間」の充実

- ・保護者や地域に向けての、全学級の道徳授業公開を年一回以上、実施する。
- ・毎月「徳の日」を設け、道徳の時間の授業を行ったり、道徳教育につながる講話や活動を行ったりする。

【視点1】

### 指針2 体験学習の充実

- ・望ましい集団活動として、特色ある体験活動を中心に、各学年の発達段階で設定している体験学習の充実を図る。【視点3】

### 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・毎月、特別な支援を必要とする児童について共通理解をする場を設け、児童への支援を組織的に行う。
- ・児童支援専任を中心に、スクールカウンセラーや外部機関との連携を図りつつ、困り感のある児童、また、その保護者に対する早期の支援を行う。【視点8】

### 指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・昨年度より始めた「全校ふれあいコンサート」のさらなる充実を目指して指導にあたる。自分のよさや友達のよさに気づける子、歌うことが好きな子に育てていく。【視点10】